

成23年8月に全ての学校に発電機を1台ずつ配備しました。



西小学校の備蓄倉庫と発電機

問 太陽光発電パネルと蓄電池を配備してはどうか。
教育長 限りある財源でやりくりしなければならぬということ、急場をしのぐという観点から発電機に決めました。これですまずやってみたいと思います。

今後の復興計画



森 繁男

問 津波に対する安全対策、多重防御について伺う。
市長 岩沼の多重防御につ

いては、国へ海岸防潮堤を早く完成するよう働き掛けをします。県は貞山堀護岸のかさ上げを行う方向付けをしています。市では、市道空港三軒茶屋線及び相の釜線のかさ上げ、さらに千年希望の丘を考えています。

避難道の整備計画は

問 東部地区全体の避難道整備計画について伺う。
市長 東部地区の避難道路は、中央部、西部地区へ避難を考えなければなりません。県道岩沼海浜緑地線、主要地方道仙台空港線、主要地方道塩釜巨理線を経由して市道本町早股線を整備し、迅速に避難できる幹線道路を確保したいと考えます。

問 阿武隈川堤防の質的整備計画について伺う。
市長 国の計画は延長700mを予定していますが、まだ4割程度しか整備されていません。平成24年度は寺島字南瀬崎地区で質的整備を実施すると伺っています。

問 阿武隈川沿い町内会の一時的避難場所、堤防への避難道について伺う。

市長 蒲崎、新浜地区は海岸から近く多重防御もほかと比べれば効果が薄いので、阿武隈川堤防に避難できる道路を確保できるように国に働き掛けをしたいと思っています。一時避難場所も十分検討したいと思っています。



阿武隈川の堤防（寺島字南瀬崎）

放射能の問題



大友 健

問 姿勢が消極的だ。「健康」の看板が泣く。放射線の測定箇所を増やしては。
市長 現時点では特別に心配する状況ではありません。

問 測定器の貸し出しを土

日にも広げたのは評価する。その測定値をデータ化するといった「市民と協働」があつていいのではないか。

市長 貴重な測定データとなるので、市としては参考にさせていきたい。

問 学校給食の食材を調べる測定器は、どんな機種で、検出限界はいくらか。
市民経済部長 10分間測定で1kg当たり25ベクレル(Bq)が限界です。

問 栗原市が買ったのは1Bqが限界値。同じ値段だ。
市民経済部長 時間をかければ10Bqまで可能です。

問 4月から食品の基準値が大幅に厳しくなる。精度の高い方が、使いでがある。
市長 できるだけ早く、ということもあります。

問 阿武隈川河川敷の線量は測ったことがあるか。
市長 環境省がしました。

問 巨理はホットスポットと位置付けたが、岩沼はそうは考えないということか。
市長 要件がそろえば、重点調査区域に入った方はいと判断しています。

問 水道は阿武隈川からの

取水はやめて、七ヶ宿の水にする選択はあるか。
市長 折に触れ検討してきました。将来の課題です。

その他の一般質問

松田由雄（日本共産党）

▼平成24年度予算

▼飯塚悦男（未来いわぬま）

▼災害公営住宅整備事業

大友 克 寿

▼新たな総合計画の策定

▼協働のまちづくり推進

酒井 信 幸

▼汚染状況重点調査地域の指定

▼防災訓練、防災教育

国井 宗 和

▼公設小売市場

佐藤 一 郎

▼復興計画と環境未来都市

布田 恵 美

▼震災からの復興

▼防災主任活用

渡辺 ふさ子

▼仮設住宅の住環境整備

櫻井 隆

▼被災者支援対策

大友 健

▼義援金・見舞金

▼選挙管理委員会の選挙対応

心